



西中だより

令和8年度重点目標

なりたい自分をイメージし、
ともに高め合う生徒の育成

令和8年7月24日発行
第5号

この子は、変わった。

— 1学期の成長を、ともに確かめる夏 —

① 1学期を振り返って——子どもたちは、確かに育った

4月、「失敗は、成長のスタートライン」という言葉でこの学校だよりを始めました。5月には「挑戦した子どもを大切にします」と約束しました。6月には「プロセスを見てください」とお願いしました。では、7月。1学期の最後に、あらためて問いかけさせてください。

お子さんは、4月と比べて、どう変わりましたか？

すぐには答えが出ないかもしれません。でも、少し考えてみてください。朝、自分で起きられるようになった。友だちに自分から声をかけられるようになった。テストで悔しい思いをして、次こそはと机に向かうようになった。そんな小さな変化が、この1学期に必ずあったはずです。それが、成長です。

② 成長は、比較の中にある

学校では、7月に「1学期の振り返り」を生徒とともに丁寧にいきます。テストの点数だけを見るのではなく、挑戦したこと・やり遂げたこと・もう一度やり直したこと——そのプロセスを、生徒自身が言葉にする機会をつくります。

ご家庭でも、ぜひ1学期を振り返る会話をしてみてください。「1学期で一番頑張ったことは？」「一番うれしかったことは？」——正解は要りません。お子さんが自分の言葉で1学期を語るとき、その子の中で成長が「確かなもの」になっていきます。

夏休み前に、ぜひこの言葉を。

「1学期、よく頑張ったね」

結果への評価ではなく、この1学期を走り切ったことへの承認を。その一言が、夏を越えた2学期のお子さんを変えます。

③ 夏休みは、「自律」を育てるチャンス

夏休みは、学校がない30日間です。これは、子どもたちにとって「自分で自分を律する力」を試す、絶好の機会です。

5月にお伝えした「子どもと一緒にルールを決める」という考え方を、夏休みにもぜひ活かしてください。起床時間、学習の時間、スマートフォンの使い方——大人が決めるのではなく、**お子さんが自分で計画を立てる**ことを大切にしたいのです。うまくいかなくてもいい。計画を立て、実行し、振り返る。その繰り返しが、2学期のお子さんをひとまわり大きくします。

④ 1学期の終わりは、2学期の始まり

西中学校のゴールは、「なりたい自分をイメージし、ともに高め合う生徒の育成」です。この1学期、お子さんの「なりたい自分」は、少し具体的になりましたか。まだぼんやりしていても、まったく構いません。でも、その問いをお子さんの胸の中に灯し続けることが、私たちの仕事です。お子さんの1学期の姿を、直接ご覧いただきたいと思います。1学期間、西中学校へのご理解とご協力を、本当にありがとうございました。お子さんとともに、充実した夏を過ごされますことを願っています。

やってみよう！ つながろう！ ありがとう！

余市町立西中学校 校長 庄司 真人